

# 熊楠ワークス

/ C / O / N / T / E / N / T / S /

VOL  
15

**特集1** 南方記念館入館100万人記念展  
熊楠の貝類標本 湊 宏氏 1~4面

**特集2** 熊楠が推理小説のモデルに  
江戸川乱歩の描いた「熊楠」 5~8面  
千本英史氏

熊楠ゆかりの地を訪ねる⑭

藤白神社(海南省) 9面

ひき岩群の生ものたち⑥

子供たちと見つけた虫 10面

## 熊楠神社

「わかやま絵本の会」が、はじめて南方熊楠に関する絵本を作ったのは、1987年の暮れ『絵本熊楠特集』である。熊楠の著作からおもしろい昔話ばかりを集めるつもりが、その頃は「ミナカタクマグスって何?」と聞いてくる人が多く、では伝記絵本も入れようということになった。この伝記絵本『くまぐすものがたり』は、わかりやすいと小学校からも注文があり、今も授業で使っている大学の先生もおられる。

ところが、2千部発行したうちの半分は地元で飛ぶように売れたが、残りの千部が長い間物置に積み上げられたままとなった。当時は、特別なファンや地元だけの人気だったのだ。落ち込んでいるところに「捨てる神あれば拾う神あり」で、たまには良いときも巡ってきて、熊楠没後五十年の企画展の会場で、残部が一気に売り切れとなった。それで「わかやま絵本の会」の赤字も解消したという次第。熊楠神社を建てねばと、そのときは本気で思ったが、今はとっくに消えている。

絵・エッセイ／

松下千恵(わかやま絵本の会代表)

絵は絵本『南方熊楠』から

